



和歌山県版  
No.380  
2023.4.15

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
和歌山県本部  
〒640-8343  
和歌山市吉田102  
国労会館2階

☎ FAX :073(422)7076  
<http://wakayama.exblog.jp/>  
<http://6250.teacup.com/chianjihou//bbs/>  
email:chian\_gisei\_sya@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本  
ふたたび戦争と暗黒政治を許すな  
一、治安維持法体制の復活に反対する。  
二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認めること。  
三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。

# 「名誉回復を求める」自治体議会決議の前進のためにも 県議選ご苦労様でした 後半戦もしっかり頑張ろう

4月9日に行われた統一地方選・県議選は、同盟会員でもある奥村規子候補が、和歌山市区で当選され、貴重な議席を死守されました。和歌山市区・松坂美智子さん、紀の川市区・杉山俊雄さん、御坊市区・楠本文郎さん、西牟婁郡区・高田由一さん(各同盟会員)はいずれも次点で残念な結果に終わりました。しかし、岸田政権下、激しい反動攻撃と反共攻撃の中でたたかいたちは、今後の運動への貴重な礎石を築きました。統一地方選の後半戦が始まっています。前半選挙の教訓を学びながら、最後までしっかりと頑張ります。県下自治体の治安維持法犠牲者の名誉回復を求める議会決議は、2006年当時では50市町村議会中28議会で採択されています。以降の市町村合併などにより、その運動

は停滞していますが、さらに進めていくためにも議会での、とりわけ日本共産党所属の議員の援助が求められています。そのためにも、後半戦でのたたかいが重要になっていきます。がんばりましょう。

後半戦にのぞまれる同盟会員と協力者の候補者の方々です。

市議・町議会議員候補

橋本市 阪本久代(現)

和歌山市 たかもと勝次(現)

森下さち子(現)

井本ゆういち(現)

南畑さち代(現)

中村あさと(現)

さかくち多美子(現)

おがわみねお(新)

新宮市 伊丹俊也(現)

第50回国会請願が、5月16日衆議院議員会館で(集会)行われます。県本部の集約で、現在2000筆(口頭報告を含む)にとどまっています。統一地方選挙の最中で忙しい時期ですが、あと一息、期限まで頑張ります。全会員、一人残らず署名漏れのないように頑張ります。署名用紙の最終集約は、県本部5月2日必着とします。ご協力ください。

国会請願は5月16日



湯浅町 ひさずみけん(現)

紀美野町 美濃よしかず(現)

はにや高夫(新)

すさみ町 たけもとなおみ(現)

橋本・伊都支部

新聞折込「署名のお願い」に

応えて32名の協力者が

橋本・伊都支部では、「署名のお願い」のピラを作成し、会員の皆さんをはじめ、『しんぶん赤旗』読者の方々へ協力を訴えるため同紙にピラと料金受取人払いの封筒を折り込んでもらいました。

3月中旬に同盟県本部へ届いた返信は32名で、署名は110筆ありました。また、運動へのカンパとしてや、亡くなられた「会員の遺志」としての募金が2万円も添えられていました。

また、3月13日、紀の川市粉河町で開かれた3・13重税反対集会会場（粉河ふるさとセンター）で請願署名の訴えに会員4人で立ち、一時間余の取り組みでしたが、84筆の署名が集められました。

二つの労働組合の協力で、署名が2

80筆寄せられています。

支部の署名目標850にはまだまだ届きませんが、残りの期限内に向かってがんばろうと確認しあっています。

（支部長 古倉伸一）

支那のつぎ

【ロメロ】

トマホーク一発4億円は安い

防衛省は敵基地攻撃用トマホークを400発購入する予定。この購入をめぐる、アメリカ産トマホーク派と国産トマホーク派が争い、どうやらアメリカ派が勝ちらしい。「一発4億円は安い」とかで。国民の知らないところで、政権内部や軍需産業界が暗闘をくりひろげているらしい。

米国派は「米国の日本への信頼のあかしになった」と喜んでいたりとか。（毎日新聞 4月12日付より）



訃報

土屋 薫さん 90歳

那賀支部所属、岩出市山在住の土屋薫さんが2023年4月7日死去されました

謹んで哀悼の意を表します

こだま

1949年7月・8月に連続して反共謀略事件、下山、三鷹、松川事件が起された。松川事件は、謀略の真実が明らかになるまで、15年近くもかかっている。◆そして、

翌年4月に「反共は戦争の前夜の声」と、蟻川虎三京都府知事(当時)が演説。その2か月後に、朝鮮戦争が勃発したのだ。◆いま統一協会・国際勝共連合が、根も葉もない反共謀略ピラをあちこちで撒き、さらに、全国でそのピラを撒く指示を同協会の機関紙で出しているという。◆その一方で、岸田内閣は統一協会との関係を断つといいながら、まともな対応もしない。重要ポストの経済安全保障担当・高市早苗大臣が、自民党の調査に嘘の報告を出し、統一協会との深い関係が明らかになっても、更迭するどころか擁護する。◆憲法無視の敵基地攻撃ミサイルなど強大な軍事国家化する新年度予算が成立した。岸田内閣を一刻も早く退陣させ、地域から文字通りの「命と暮らしを守る」ために、日本共産党の統一地方選挙で躍進をめざしたい。「新しい戦前」にしてはならない。

【学習の頁】

安保3文書って何？

### 国民生活が一層苦しく

### 増税し社会保障、教育費を削り、

### 借入金をして大軍拡

アメリカ主導で岸田政権は、本格的に軍拡政治をはじめました。

国会も無視して定められた防衛三原則は、従来の原則「専守防衛」を打ち捨て、「敵基地攻撃能力」(敵基地反撃能力)を内容とする大軍拡への道を開きました。それは周辺諸国へ脅威を与え、いったん紛争に巻き込まれると日本は相手国のミサイル攻撃の対象となり、日本国民の命さえ危うくすること。同時に国民の生活窮乏化への道となることも、国会審議で明らかになってきました。

今次大軍拡予算は五年間で43兆円とされています。

いよいよ「軍拡財源確保法案」の創設の審議にも入りました。

そこで当然考えられるのが増税です。法人税、所得税、たばこ税がその対象です。

庶民に重くのしかかっている税や国保や介護保険料などにも及んでくるでしょう。



（『しんぶん赤旗』2022.10.30より）

社会福祉関係や教育費は、「財源がない」と言って削減や出し渋り(右図参照)が続いていますが一層その傾向は高まるでしょう。高齢者の医療費2割負担、コロナが2類から5類に格下げされた

り、入院ベッドが削減されたりそんなことがまだまだ続くことでしょう。

次は横流し。復興特別所得税(東日本大震災の復興のための税)が軍事費に流用されます。開いた口がふさがりません。復興のためにと差し出した税が軍拡に横流しされようとしています。

それだけではまだ足りません。安易に借金(国債発行)に頼ります。「金が足りないから国債発行」というのは原則禁止です。太平洋戦争は財源の大部分を国債で賄いました。その誤りへの反省として、赤字国債の発行は禁止されたので、借金は返さなければなりません。その借金返済の財源を国民生活の必要予算の削減、借金を返すためのさらなる借金をと、悪循環を続けます。次世代に大きな悪影響を生んでゆきます。

大軍拡は国民生活の悪化を前提とされているのです。



# 『犠牲者名簿』巻末から (46)

西辻 精一 (にしつじ せいいち)  
 本籍 和歌山県東牟婁郡新宮町下地  
 (現 新宮市)

## 紀のくに歳時記散歩 3

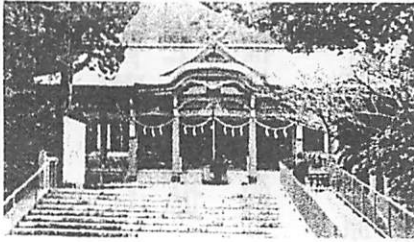
紀のくに和歌山の歴史ある各所仏  
 閣碑などを気軽に散策します。

### 加太 淡島神社

2月の針供養、3月の雛流しでよく知られる淡島神社は、いつ行っても本殿や廊下に山のように置かれている雛人形に圧倒されます。

#### 面白い祠

多くの雛が収められていた社殿の少し横の一段高い所に、中を見えにくくした建物があります。中には大小さまざまな、大量の「男根」、男の一物をかたどったものが収められています。



淡島神社 本殿

1933年4月10日、和歌山県東牟婁郡新宮市で検査される。

1932年、紀南農民組合を結成し、富田砥石争議などを応援した。1937年、社会大衆党紀南支部常任委員。戦後、

(淡島さんにこんな面白いところがあるのをご存知でしたか。)

#### 句 碑

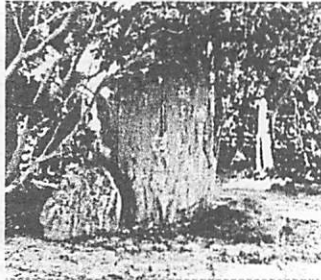
本殿の前に大きな

自然石で榎本冬一郎の句碑(写真上)があります。

榎本冬一郎は田辺市の人で、山口誓子の「天狼」同人。「群蜂」を創刊・主宰。

明るさに 耐えている顔 流し雛

榎本冬一郎



もうひとつの句碑

流し雛日本の国の磯を去らぬ

青畝

園生なす加太の磯菜をつみあかす

鯨洋

針供養の塚の近くに、阿波野青畝と福本鯨洋(げいよう)の句碑があります。福本鯨洋も田辺市の人で、阿波野

日本社会党に入党し、1946年、新宮市議に当選した。

『和歌山県の治安維持法犠牲者』(第3版)、同補訂資料版から、いろいろ紹介しています。

青畝主宰の「かつらぎ」創刊に参加した俳人だそうです。私は今回句碑を見て、鯨洋という俳人を知りました。

#### 加太を詠んだ仲間句

2018年4月に、淡島神社の前のホテルで開催された「瀬戸内句会」(新俳句人連盟主催)に、参加した同盟メンバー4人の作品(勝三郎さんは「不屈」読者)。

流々るる雛の眼は吾を睨めつ

鶴田至

女の宮の紅八重桜蕾かたし

由井輝子

内裏雛足首伸ばしひいな湯

池田勝三郎

雛送る向こうに辺野古珊瑚泣く

正男

参考文献 紀路の碑・南由次郎著

現在俳句辞典(富士見書房)

(瀬戸 正男)